

甲府商工会議所

需要動向調査結果(令和5年3月報告)

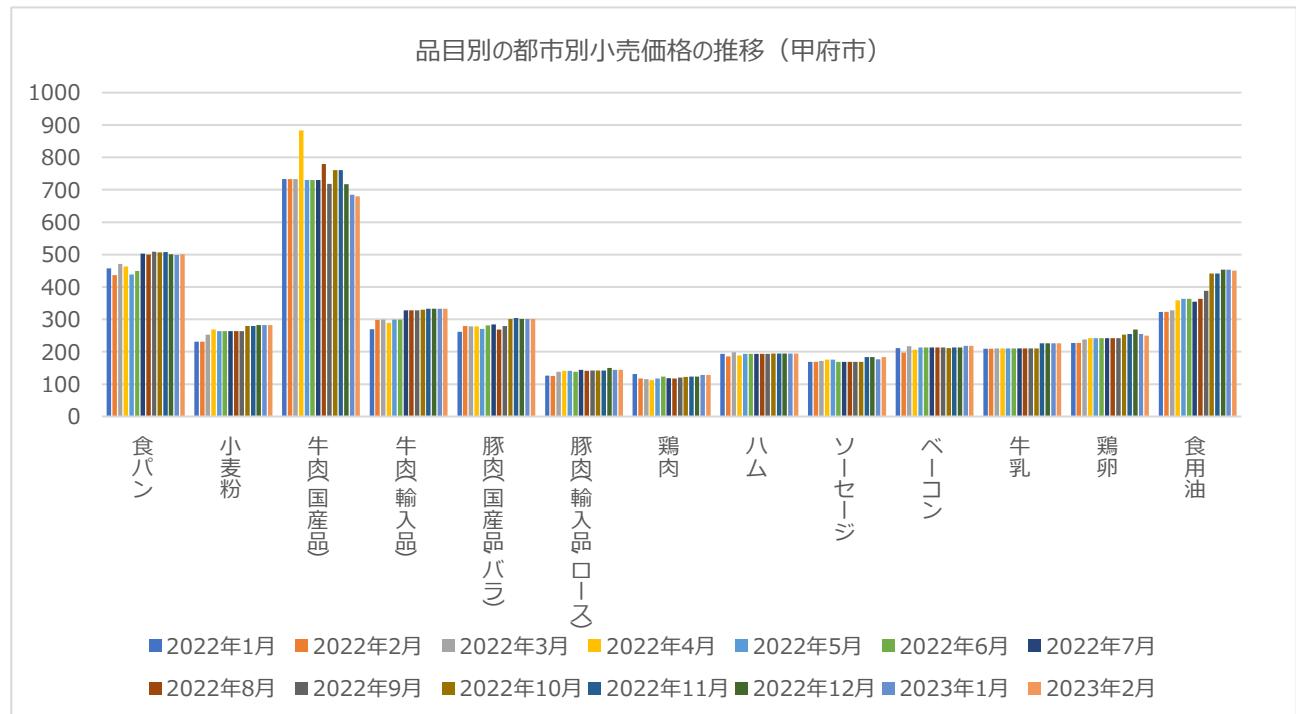
目次

1. 品目別の都市別小売価格の推移	1
2. 県庁所在地別 1世帯あたり支出金額の順位比較	3
3. 山梨の土産品（特産品）商品別販売動向	4
4. まとめ	6

1. 品目別の都市別小売価格の推移

甲府市における品目別の2022年1月から2023年2月における小売価格推移調査では、食パン、小麦粉、牛肉（輸入品）、豚肉（国産、バラ）、ソーセージ、牛乳、鶏卵、食用油について価格の上昇傾向がみられる。

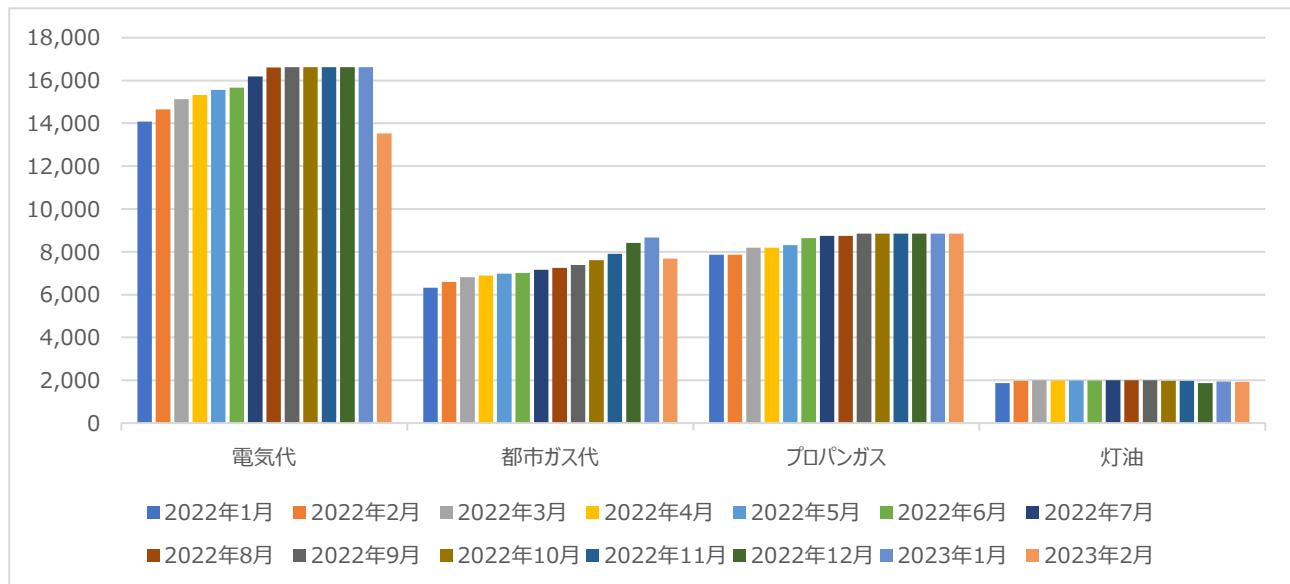
特に食用油については、2023年2月の価格は対2022年1月比140%となっており、著しい価格上昇がみられる。



出典：小売物価統計調査（動向編）

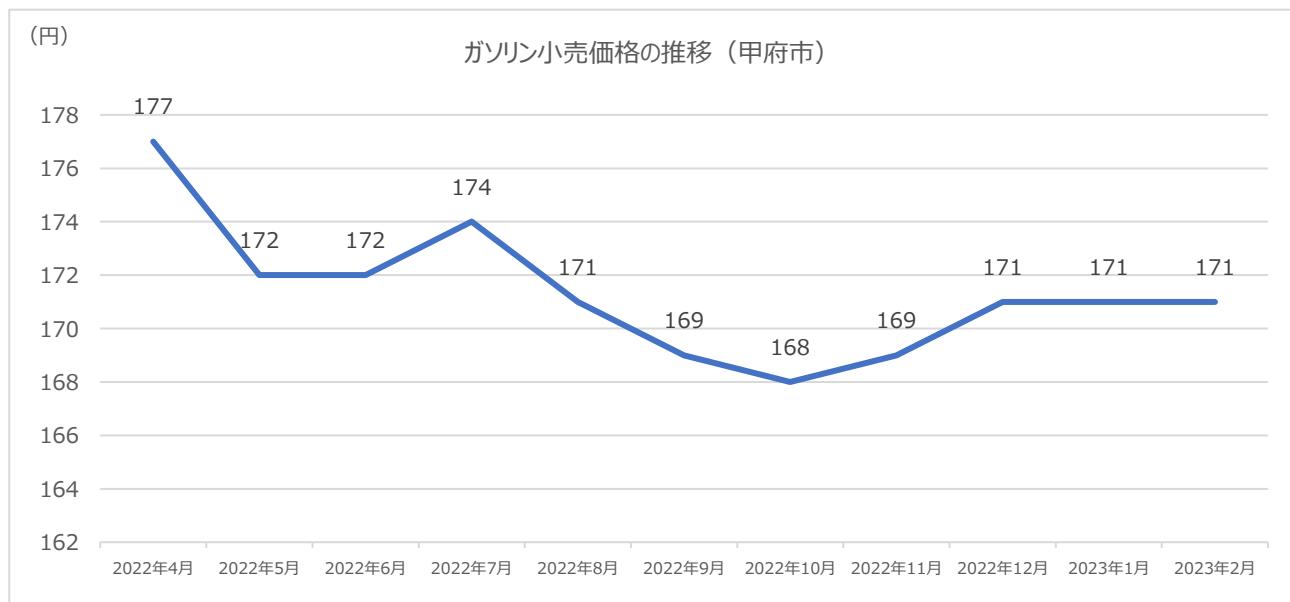
また、インフラ関係では、電気、都市ガス、プロパンガスが上昇傾向であったが、2023年2月期において、電気、都市ガスに大幅な減少がみられた。

灯油については、価格は維持されている（政府の補助金の効果と考えられる）。



出典：小売物価統計調査（動向編）

甲府市におけるガソリンの小売価格については、価格の上昇は抑制されていると見ることができ。これも、政府の補助金の効果と考えられる。



出典：小売物価統計調査（動向編）

2. 県庁所在地別 1世帯あたり支出金額の順位比較

県庁所在地に川崎市、相模原市、浜松市、堺市、北九州市を加えた 52 都市における 1世帯あたり支出金額の順位について、2022 年 1月から 12 月における四半期ごとの金額順位を比較した。

まぐろの支出は常に上位となっており、10-12 月期では 1 位となっている。他市に比べて支出金額が高いことが分かる。

牛肉は常に順位が最下位レベルとなっている。

ぶどうは 1-3 月期、4-6 月期は全国最下位レベルであったが、7-9 月期では 1 位、10-12 月期では 3 位となっている。

桃については、家計統計には 1-3 月期のデータはない（出荷がないと考えられる）が、4-6 月期では 5 位、7-9 月期では 3 位、10-12 月期では 2 位と支出金額は上位となっている。

ケーキの販売金額は 7-9 月期、10-12 月期では上位となっている。

清酒は徐々に順位を下げていたが、10-12 月期では 20 位と順位を上げている。

ワインは徐々に順位を上げており、10-12 月期では 11 位となっている。

外食では、飲酒代が徐々に順位を下げ、10-12 月期でも 45 位と低い順位となっている。

ハンバーガーは常に上位に位置しており、甲府市での購買意欲の高さがうかがえる。

○県庁所在地別 1世帯あたり支出金額の順位

対象都市：52 市（県庁所在地+川崎市、相模原市、浜松市、堺市、北九州市）

※青網掛けは半数より上位

購入品	2022 年			
	1-3 月期	4-6 月期	7-9 月期	10-12 月期
まぐろ	3 位	3 位	4 位	1 位
牛肉	40 位	44 位	42 位	42 位
ぶどう	51 位	52 位	1 位	3 位
桃	—	5 位	3 位	2 位
ケーキ	46 位	45 位	17 位	18 位
清酒	24 位	31 位	49 位	20 位
ワイン	38 位	18 位	16 位	11 位
鮓(外食)	42 位	46 位	28 位	42 位
焼肉(外食)	51 位	31 位	34 位	47 位
喫茶代(外食)	18 位	22 位	9 位	28 位
飲酒代(外食)	30 位	47 位	52 位	45 位
ハンバーガー(外食)	16 位	15 位	4 位	7 位

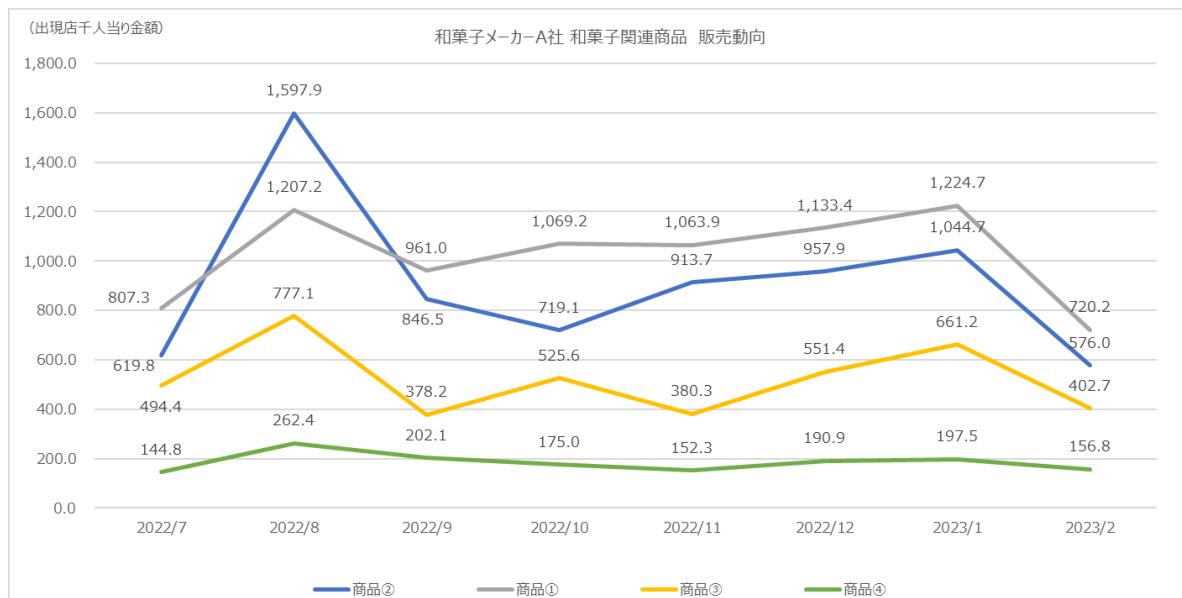
出典：家計調査（12月期まで公表）

3. 山梨の土産品（特産品）商品別販売動向

POSEYES データを用いて、土産物として購入されることの多い商品の販売傾向を調査した。

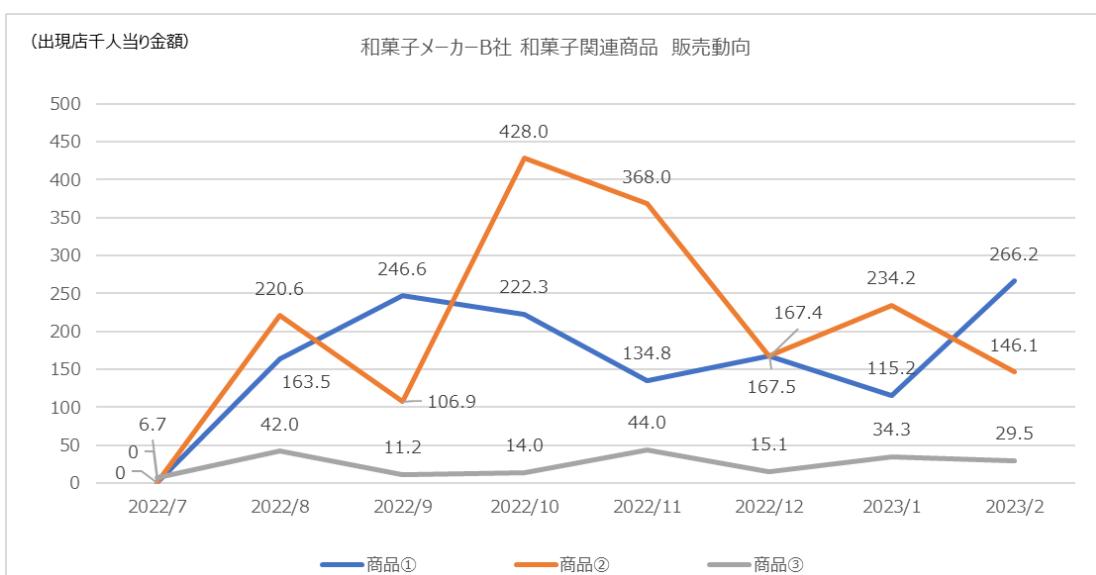
(1) 和菓子関係

山梨県の土産品としてよく購入される和菓子メーカーA社の和菓子関連商品については、いずれの商品も年間を通して堅調な売れ行きを示していたが、2月期の販売額は1月期から大幅に下落した。



和菓子メーカーB社の和菓子関連商品については、商品②の販売額の変動が大きい。

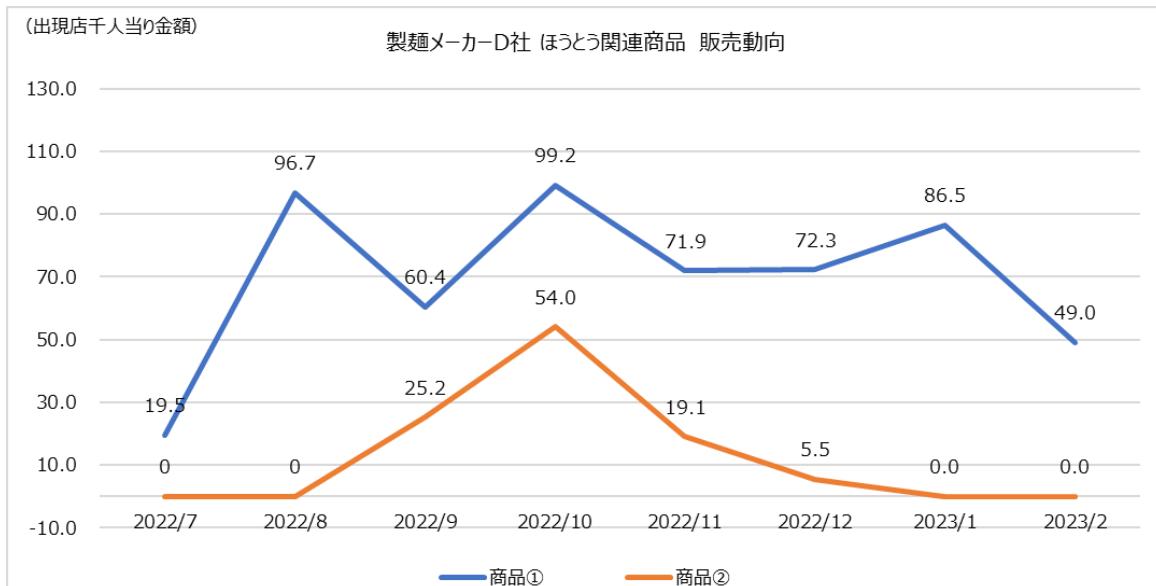
商品③については、一貫して販売額が少ない状況であり、年間を通して傾向に変化は見られない。



○製麺関係

製麺メーカーD社のほうとう関連商品については、定番のほうとう商品である「商品①」について、変動はみられるものの堅調な販売額を維持している。

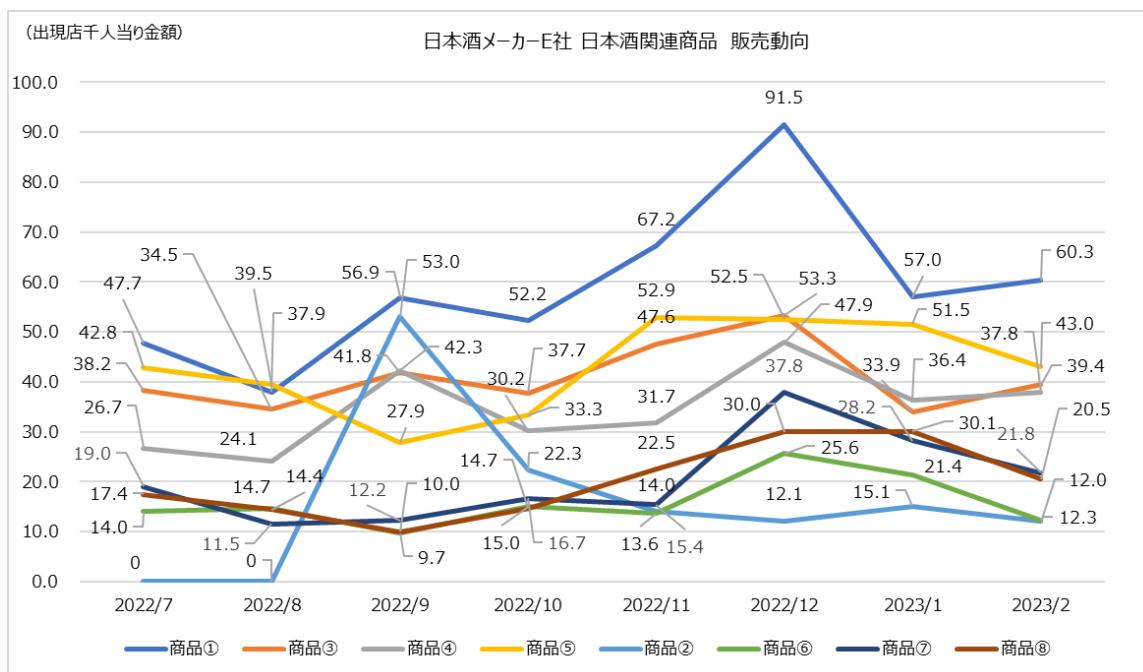
2018年に登場した新商品の「商品②」は、10月の販売が伸びたものの11月、12月と大きく下降し、1月期、2月期は販売額が0となっている。



○日本酒関係

日本酒メーカーE社の日本酒関連商品については、純米酒720ml商品である「商品①」、純米酒1.8L商品である「商品⑤」が年間を通して堅調な売り上げを示している。

スーパークリーニング系の商品である「商品⑥」、「商品⑦」については販売額に大きな伸びは見られない。



4. まとめ

小売物価統計調査（動向編）における小売価格の変動調査では、小麦粉関係、牛肉（輸入品）、豚肉（国産、バラ）、ソーセージ、牛乳、鶏卵、食用油について価格の上昇傾向がみられる。

特に食用油に著しい価格上昇がみられる。

インフラ関係では、電気、ガスは上昇傾向にあったが、2月期で大幅に下落している。要因については、この後の状況を踏まえて分析を行う必要がある。

灯油、ガソリンには価格の上昇はみられない。政府の補助金の影響があると考えられる。

県庁所在地別1世帯あたりの支出金額の順位比較では、常に上位の支出となっているのは、まぐろであり他市に比べて甲府市では支出金額が高いことが分かる。

牛肉は常に順位が下位となっている。

ぶどうは出荷がピークとなる7-9月期、10-12月期で全国トップクラスの支出金額となっている。

桃についても7-9月期で3位、10-12月期で2位と上位になっている。

ワインは徐々に順位を上げており、10-12月期では11位となっている。

飲酒代（外食）は年間を通して低い順位となっている。

ハンバーガーが年間を通して堅調であることが甲府市の特徴と捉えることができる。

POSEYESデータを用いた、土産物として購入されると思われる商品の販売傾向調査では、和菓子は堅調な売り上げを示すメーカーと販売額が大きく変動するメーカーがあることが分かる。

ほうとう関連商品も変動が大きく、新しい特産品とされる商品は販売が低調となっている。

日本酒は純米酒が堅調な売り上げを示している。

以上